

神戸新聞読者クラブ

# 奥さま手帳

毎月、兵庫を再発見。

2012年

8月号

NO.469

本の世界へ。  
兵庫をつづつた  
物語を訪ねて。



古里のなまり懐かし。  
熱くなる、ライブ空間。  
甲子園球場散歩。





# 阪急電車「の宝塚へ。」

（「阪急電車」15ページより）

「声がかげられたのが自分だということには、電車鉄橋を渡り終えてから気がついた。遠くから斜めになつても『生』の「私」が見つけてからもう一ヶ月くらい経つんですよ。すごいですよね」



武庫川中州に街と人と心の再生を願つて2005年から石を置いてつづられた「生」のオブジェ。小説では征志とユキを結びつけるきつかけとなる。

映画・DVD化でヒットしたご当地小説。舞台は、阪急今津線。おなじみの6両編成の電車が登場人物たちの出会う場所となり、各駅のエピソードが絶妙に重なり合っていく。まずは物語の起点、宝塚駅へ。駅前の緑の木陰が美しい「花乃みち」は宝塚大劇場へ、そして物語で時江と孫娘の亜美が遊んだドッグランのある宝塚ガーデンフィールドと続く。「映画で亜美役を演じた芦田愛菜ちゃんが選んだワンちゃんは、小さくて真っ白な日本スピッツのユジンでした」と広報宣伝担当の宇波理恵さん。駅に人あり。人に物語あり。電車が運ぶ無数の日常に思いを馳せながら、片道15分の小さな旅を楽しんでみよう。

武庫川中州の「生」の字を見たユキのように「生ビール呑みたい」となったら、スカイピアガーデンへ。本格中国料理のオーダーバイキングでビールを。



## 宝塚ホテル たからづかホテル

1926年創業、大正浪漫薫る名門ホテルは、地元の人に愛され、宝塚大劇場オフィシャルホテルとしても有名。小説では物語の軸となる翔子が、花嫁さんからの白いドレスを着て元婚約者と友人の結婚式場に「来賓」として乗り込む！

▷宝塚市梅野町1-46 ☎0797-87-1151  
【屋上ビアガーデン】 9月9日(日)までの午後5時30分～午後8時30分(90分制) 大人4,000円、3～12歳2,500円 月曜、8/3-4休 ※雨天中止 @154台



お城のような駅舎の宝塚駅(左)から続く花乃みち(中)は、時江と亜美が散歩。ここから1駅、清荒神駅前の宝塚市立中央図書館(右)は、征志とユキが出会う重要な場所。



宝塚への道案内 / 電車→JR福知山線・阪急今津線・宝塚本線宝塚駅、阪急今津線宝塚南口駅から各所へ。車→中国自動車道宝塚ICから国道176号線で西へ約3分



ふれあいエリアに、映画で芦田愛菜ちゃんと共演した日本スピッツのユジン(手前)がいた！カメラを向けたら即ポーズを取ってくれた。さすが名優！?

## ペット・パーク ドッグ・ラン・ド

犬をノーリードで思い切り遊ばせることができるドッグランエリアと、さまざまな種類の犬をはじめ、人なつっこい動物たちと遊べるふれあいエリアがある。犬好きな時江と孫娘の亜美がしばしば通った場所は、映画の撮影も行われたそう。

▷宝塚市栄町1-1-57 宝塚ガーデンフィールドス内 ☎0797-85-6210  
午前10時～午後5時30分 ふれあいエリア 大人600円、3歳～小学生300円 ドッグランエリアについては要問い合わせ 水曜休(祝日は営業) @200台

(城山遊歩道)から一望できる浜坂の町。向かい側には文太郎もよく登ったという観音山がそびえ、手前には岸田川が流れる。



加藤文太郎ふるさとの碑(右上)は「城山園地」から城山遊歩道を約1km歩いた山道に。3個の自然石が北アルプスの山をイメージ。新田次郎文学碑(右)は浜坂港の近くにあり、小説の一文が刻まれている。

そんな時代、神戸で働きながら(単独行)で冬山に登る文太郎の挑戦を小説に描いたのが「孤高の人」だ。山の厳しさとは対照的に、故郷である浜坂の町が穏やかに綴られている。「町では(ぶんちゃん)と呼ばれて親しまれる存在」と「加藤文太郎記念図書館」の松本八重子さんが言うように、町に溶け込んで文学碑やゆかりの神社がある新田次郎生誕100年でもある今年、ぜひ巡ってみたい。



浜坂への道案内 / 電車→JR山陰本線から浜坂駅へ。車→播但連絡道・北近畿豊岡自動車道和田山ICから国道9号線～県道312号線～国道178号線から浜坂方面へ。ICから約1時間30分



『孤高の人』新田次郎・作 新潮文庫 上・下・各700円(税込)

冒険家の植村直己も憧れた、昭和初めの登山家・加藤文太郎。今では女性にも開かれている山への道だが、当時は山岳ガイドを雇って、多くの資金をかけてする高級なスポーツだったとか。



## 加藤文太郎記念図書館

かとうぶんたろうきねんとしよかん

図書館の2階が加藤文太郎の資料室に。彼が実際に使った登山道具や靴、直筆の手帳、花子夫人とのアルバム、新聞記事などを展示。服装や道具を独自に工夫し、ひとりで山を制覇していった足跡がうかがえて、感動が再び！

▷美方郡新温泉町浜坂842-2 ☎0796-82-5251  
午前10時～午後6時(土・日曜は午後5時まで) 木曜、第3火曜、第4月曜(祝日の場合翌日)休、臨時休あり @35台



建物の屋根や室内の壁に山の稜線を再現。資料室の入口で、文太郎のレリーフが迎えてくれる。

# 「孤高の人」の浜坂へ。

文太郎は父の眠った折を見計らって町のはずれの宇都野神社へかけていった。裁判所の前を通り、学校の前を通って、坂道を登りつめたところに神社があった。ここからは町が一望のもとに見え、岸加藤はここが好きだった。ここからは浜坂の湾が見えた。田川の河口からひろがる浜坂の湾が見えた。(「孤高の人」上巻・230ページより)



## 宇都野神社 うつものじんじや

物語の中で、文太郎が花子夫人と初めて出会ったとされる石段が参道。素戔嗚命や大国主命を祀り、夏の「川下祭り」や秋祭り時には県指定重要無形文化財の麒麟獅子舞が行われて大迫力。石段手前には麒麟獅子の像が鎮座。

▷美方郡新温泉町浜坂2456-4 ☎0796-82-1347 参拝自由 @あり

社殿は森に包まれ、木漏れ日が爽やか。子どもの頃の文太郎が、境内で遊んだかもしれない。

久保さん自身が読んで感動した絵本で、比較的なじみのあるアメリカと日本以外の世界の作品を集める。今では出版社から直接届く新刊本も本棚に。久保さんの優しい笑顔に見守られ、ゆったりと本を読んで過ごしたい。



### 久保良道さんのおすすめ

- 1 「たいせつなきみ」  
マックス・ルケード 作／セルジオ・マルティネス 絵／  
ホーバード・豊子 訳  
木のかびとが貼られる(だめじるしシール)。「絵本で私の(だめじるしシール)がはがれていった」と久保さん。
- 2 「ふくしまからきた子」  
松本 猛 作／松本春野 作・絵  
福島から広島へ引っ越してきた女の子と友だちとの交流の中、(ほうしゃのう)についても考えるお話。
- 3 「バスラの図書館員  
イラクで本当にあった話」  
ジャネット・ウィンター 作／長田 弘 訳  
戦火の中で図書館の本を救ったバクルさん。「本には私たちの歴史が全部詰まっている」とのメッセージが。
- 4 「木を植えた男」  
ジャン・ジオノ 作／フレデリック・バック 絵／  
寺岡 襄 訳  
荒れ果てた地を、1人で緑の森に蘇らせた男の話。自然や旅の経験など大切なことを思い出させてくれる。
- 5 「ヤクーバとライオン」  
ティエリー・デデュ 作／柳田邦男 訳  
アフリカの少年ヤクーバの(戦わない勇気)と冒険の話。翻訳はノンフィクション作家・柳田邦男氏。

### 館長さんの想いが、本棚にぎっしりと。



本を借りるときは、図書カードの帯出者氏名欄に自分で名前を書く。「本への愛着が増すよう、コンピュータ任せにしない」と天野さん。

### 天野まさみちさんのおすすめ

- 1 「3びきのかわいいオオカミ」  
ユージー・トリビザス 作／  
ヘレン・オクセンバリー 絵／こだまともこ 訳  
『3びきの子豚』のオオカミ版。悪者扱いされることの多いオオカミが襲われるなど、微笑ましく描かれている。
- 2 「父は空 母は大地  
インディアンからの手紙」  
篠崎正喜 絵／寮 美千子 編・訳  
自然を敬い、自然とともに生きてきたインディアン。彼らが口から口へと伝えてきた大切なことが綴られる。
- 3 「タンゲくん」 片山 健作・絵  
自由主義ネコ「タンゲくん」を通して、ネコとの正しいつきあい方がわかる。迫力ある絵から目が離せない!

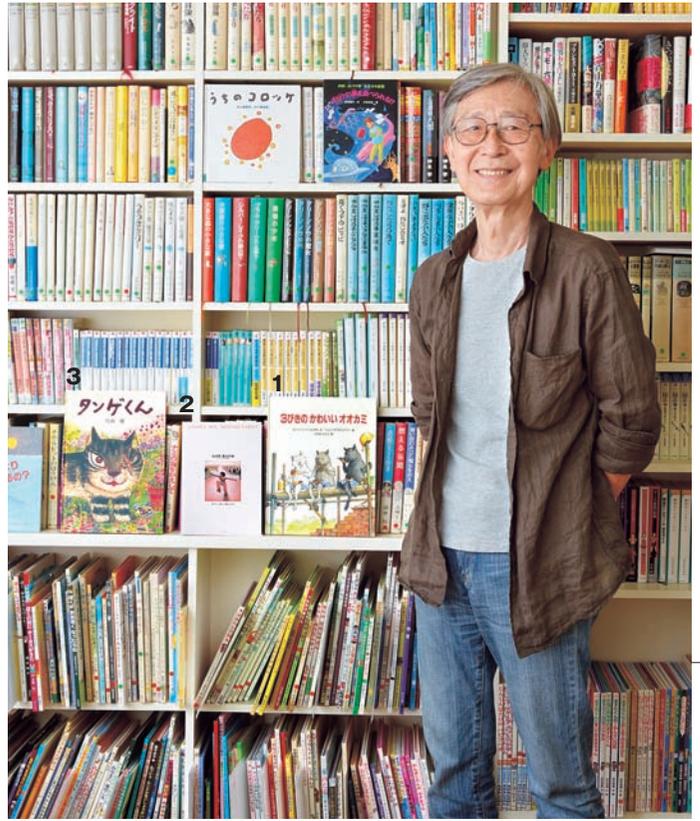
### どんぐり文庫

どんぐりぶんこ 西宮市

「子どもたちに思い切り本を読んでもらいたい」と1975年から自宅居間を開放し、会員制の文庫を始めた天野さんご夫妻。現在絵本と児童書の蔵書は6300冊。運営を地元の学生が手伝うなど、地域に根差した場所として愛されている。「この文庫は、読書自由空間。寝転がって読んでも平気。本とふれあう時間に出合っしてほしい」と天野まさみちさん。自分のペースで本と遊ぶ子どもたちがイキイキ過している。



天野さんが目を通して選んだ本は、中・高校生や大人向けもたくさん。文庫のオープンは週2日で、会員は1回に6冊、2週間借りられる。会員でなくても文庫内で本を読むことはでき、「本が好き、子どもが好き」な学生スタッフがサポート。第3土曜午後3時からのおはなし会も人気。



▷西宮市仁川町2-9-40 ☎0798-54-3596 水曜の午後2時～午後5時、土曜の午前10時～正午と午後2時～午後5時(事前連絡で各日午後8時まで)開館 臨時休あり 会費=1カ月100円 ①なし 道案内/電車→阪急今津線仁川駅から東へ徒歩約5分車→中国自動車道宝塚ICから武庫川を越え、県道337号線を南へ約10分

## 個人図書館が おもしろい!

集めた蔵書を惜しみなく開放する個人図書館。語り継ぎたい絵本や良作の数々には、館長さんの思いも凝縮。子どもはもちろん、大人の読書欲も満たしてくれるはずだ。



開館は第2・4土曜日。貸し出しの冊数制限、返却期限はなく、名前記入のみで誰でも借りられるので、子どもや大人が気軽に訪れる。「子どもがいつでも絵本に親しめるように」と周辺の小中学校にも本を置いてあるとか。

### くぼっち文庫

くぼちぶんこ 赤穂市

のどかに田んぼが広がる集落の1軒に、世界各国の色彩鮮やかな絵本が並ぶ「くぼっち文庫」。元小中学校校長の久保良道さんが「自分が感動し、力をもった絵本の世界を1人でも多くの人に知ってほしい」と自宅倉庫を改装し、気に入った作品を買いそろえて100カ国3000冊もの本を開放する。思い思いに絵本の世界で遊ぶ子どもたちの姿が微笑ましく、大人も感性を広げてゆったりできる空間。



久保さんが地元紙に連載する絵本のエッセイをまとめた「絵本で世界を旅しよう」(文芸社・1,200円)。父との思い出を綴った「父と歩んだ六十年」、赤穂市有年地区の歴史を記した本などの著書も。地元の歩んだ歴史を残そうと筆を執っている。



▷赤穂市有年原434 ☎0791-49-2089 第2・4土曜の午前10時～午後3時のみ開館 臨時休あり 会費=なし ①なし 道案内/電車→JR山陰本線有年駅から西へ徒歩約10分 車→山陽自動車道龍野西ICから国道2号線を西へ約25分

# 通いたくなる本屋さん。

店主の好みや思いが書棚からあふれる専門書店や古書店には、通って本を探し、店主と話すほどにファンになってしまう魅力がある。まずは、姫路で人気のユニークなブックワールドへ！



姫路城へと伸びる大手前通りを東に入った路地に、隣り合って存在する2軒の古書店。いずれも、今年1月に惜しまれて閉店した古書専門のブックカフェ「ツリーハウスブックストア」の流れを汲むお店。本好きにはたまらない場所だ。

右側の「おひさまゆうびん舎」は、「ツリーハウス」のスタッフだった窪田泰子さんが、絵本や児童書の古書を独立させ、昨年3月にオープン。「もともと絵本が好きで、子どもの心に寄り添う仕事がしたい」と思い、12

年間読み聞かせの活動を。家の近所なので「ツリーハウス」の常連でした。左側の「されど…inツリーハウス」の主は、加古川で古民家ブックカフェ「されど…」を営んでいた朝山節子さん。「ツリーハウス」の店主・清水健司くんとは以前からの知り合い。閉店すると聞いてとても残念で、「ここがなくなったらあかん！」と引き継ぐ決心を「と、お隣同士を実現させた。」

おふたりに古書店を営む魅力をうかがうと、「幼い頃に読んだ絶版の絵本を見つけて喜ばれるお客さんがいると、私もうれしくなる」と泰子さん。「たくさんの本から心引かれる1冊に出会うのは、お宝を探す気分。カフェ利用の人には貸本サービスも。町の小さな図書館を目指したい」と節子さん。古書の楽しみを深めてくれた「ツリーハウス」の志はしっかりと受け継がれ、新たな芽が育っている。

## 本好きは、もう通っています！ 姫路、お隣同士の古書店へ。



店内もかわいい「おひさまゆうびん舎」。真っ赤な郵便ポストの上に、素敵なマグネットを発見！

### 本店のブックカフェもリニューアル！

#### されど…salut

されど…サリュ！ 加古川市

名建築・加古川図書館のそばにある、築70年の古民家を改装した「されど…」の本店がリニューアル。今年春からフードが充実し、ヘルシーな週替わりランチ、オリジナルのカレーランチほか、自家製ケーキとコーヒーもお薦め。レトロな雑誌や古書を片手に、わが家にいる気分でくつろぎたい。

スタッフ2人は元友人同士で大のカフェ好き。週替わりランチ800円など体と心に優しい料理を。



▷加古川市加古川町木村227  
☎079-440-1024  
午前11時～午後8時 月曜、第13日曜日 ㊟あり  
道案内/電車→JR神戸線 加古川駅から南西へ徒歩約10分 車→加古川バイパス加古川ランプから県道18号線を南西へ約3分



#### おひさまゆうびん舎

▷姫路市本町68  
☎079-288-6597  
午前10時～午後7時 木曜、第2・4水曜休、臨時休あり ㊟なし

#### されど…inツリーハウス

▷姫路市本町68  
☎079-284-8844  
午前11時～午後7時 水・木曜休 ㊟なし



A [されど…inツリーハウス]の店内は本の山。前店から継いだ3,000冊に節子さんの1,200冊をプラス。文学、芸術、歴史、趣味、哲学など多彩なジャンルに胸が躍る。B 節子さんお薦めの本。エリナー・ファッションの自伝的物語「マローンおばさん」、「西の魔女が死んだ」梨木香歩・作、店名の由来になった「されどわれらが日々」柴田翔・作。C ジャズが流れる2階はブックカフェ。ケーキセット750円。



A [おひさまゆうびん舎]は2階に。絵本の世界が広がり、センスよく本を配置。泰子さんが長年集めた絵本のほか、児童書や一般書の古書も。B 泰子さんお薦めの本。『ぼくはイスです』長新太・作・絵(絶版)、『ぼくのつくえはぼくのくに』佐藤さとる・作 村上勉・絵、心に染みる『さよならのあとで』H・S・ホランド・詩 高橋和枝・絵。C ミニギャラリーでは原画展も。8・9月は夏葉社フェア 高橋和枝原画展を開催。



互いに「節子さん」「やっさん」と呼び合うおふたり。世代は異なっても本や絵本を愛する誠実な心はひとつ。読みたい1冊を探す強力な助手人なので、気軽に相談してみたい。

元図書館司書だった平松三代さんが選ぶ児童書は、読んでおもしろく満足感が残り、希望へとつながる本ばかり。「最近の子どもはことばを楽しい力が弱っていて、想像を膨らませられない。本を読んで笑えたり泣けたりするのは、ことばを発した人の気持ちを思うからでしょ?」。心を耕せる本は、大人にとっても必要だ。

おすすめは…



「スーザンのかくれんぼ」  
ルイス・スロポドキン 作/やまぬしとしこ 訳  
偕成社 1,200円  
スーザンの隠れ場所探しに大人も協力してくれるが、いつも見つかってしまう…。ユーモアあふれる物語。  
「せいめいのれきし」 パージニア・リー・パートン  
文・絵/いしいももこ 訳  
岩波書店 1,600円  
地球上に生き物が誕生してから人間の時代になるまでの長い歴史が、詩情あふれる文と挿絵で綴られる。



1975年、日本で10軒目の児童図書専門店としてオープン。「棚に並ぶのは、すべて私が読んだ本」と快活に話す平松さん。

## ひつじ書房

ひつじよぼう | 東灘区



夏なら虫捕りにまつわる本など、季節にタイムリーなテーマで本を紹介したりと、独自の工夫が凝らされている。

▷神戸市東灘区岡本1-2-3  
☎078-441-6869  
午前10時～午後7時 木曜休 ②あり 道案内/電車→JR神戸線摂津本山駅から東へ徒歩すぐ 車→阪神高速神戸線深江出口から北西へ約5分



## 一生ものの、本との出会いを求めに行こう。

「新刊・古本の垣根を越えて、本好きな人に足を運んでもらいたい」と、「海文堂書店」の一角で「昨年にも新設された古書コーナー」。神戸と明石の古書店4店が本棚を置き、社会科学や郷土史など得意とする分野の古書を並べる。「装丁も絶妙。ぜひ手に取って楽しんでほしい」と神戸の「イマヨシ書店」店主の今吉祝さん。温故知新を実感しよう。

おすすめは…

「歌劇」  
6,000円  
大正9年に創刊された宝塚歌劇機関誌の1冊。レトロなイラストに斬新な躍動感が漂う。現在、通巻1,000号を突破。



「満州丸」  
52,500円  
明治38年に発行された観戦記念写真集。右から左に流れるタイトル文字からも、時代の匂いが伝わってくる。



「やまだ書店」[一栄堂書店][イマヨシ書店][あさかぜ書店]店主が持ち回りで店頭に。「得意分野は昭和なモノ」と言う今吉さん。

## 海文堂書店 元町・古書波止場

かいぶんどうしよてん  
もともちしよはとば | 中央区



〈古書波止場〉なる粋な名前を持つコーナーは、書店2階の一角。良書が集まる港で宝物を見つけよう。

▷神戸市中央区元町通  
3-5-10 2F  
☎078-393-0246  
午前10時30分～午後7時 無休 ②なし 道案内/電車→JR神戸線・阪神元町駅から南西へ徒歩約5分 車→阪神高速神戸線京橋出口から西へ約5分

